

平成 30 年度 第 3 回 市長と市民とのくつろぎトーク 「市民の方には今の多摩市はどう映っているか」

平成 30 年 10 月 13 日(土)14 時 00 分～15 時 45 分

会 場：関戸公民館 第 3 学習室

参加者：10 人（男性 7 人、女性 3 人）

司会（秘書広報課長）

ただいまから市長と市民とのくつろぎトークを開催します。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

まず初めに市長と市民とのくつろぎトークについての説明をさせていただきます。

この事業は、在住、在勤、在学の市民の生の声を、様々な機会の中で、市長が直接伺い、政策への参考にしていくために実施するものであります。

平成 22 年度に「市長と市民との対話会」として始まり、市内の企業や大学、公民館事業の実行委員の方々など、多くの方にご協力いただき行ってまいりました。

本年度第 3 回目である今回は、市民の方を対象に無作為抽出と公募で参加者を募集し、市長と市民とのくつろぎトークと題して行います。限られた時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

それではまず、市長からご挨拶をお願い致します。

市長

本日は、皆さま大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。これまで、市長と市民の対話会をいろいろな形でやらせていただいています。対話会だけでなく、土曜・日曜日はほとんど市内を走り回っていて、本日もベルブ永山で開催している介護保険市民フォーラムに出席し、ここへ駆けつけました。午前中も諏訪中学校の 40 周年記念式典、また、永山名店街のお祭りがあり、秋刀魚 1,000 匹を焼いて、皆さんに振舞っていました。この時に市民の皆さんと一緒にいろいろな話をする但也有ありますが、今回は、無作為抽出で当たった方、公募で参加された方にお越しいただき、市政に関わること、日ごろ皆さんが感じていること、何でも結構ですので、限られた時間ですが有効に使わせていただきたいと思いますのでご協力よろしく申し上げます。

*事務局自己紹介

*各自自己紹介の概略（発言順）

○Aさん	地域：一宮4丁目	多摩市居住歴：約20年
○Bさん	地域：連光寺1丁目	多摩市居住歴：10年
○Cさん	地域：豊ヶ丘2丁目	多摩市居住歴：約50年
○Dさん	地域：豊ヶ丘3丁目	多摩市居住歴：約16年
○Eさん	地域：落合6丁目	多摩市居住歴：約6年
○Fさん	地域：中沢2丁目	多摩市居住歴：20年
○Gさん	地域：聖ヶ丘3丁目	多摩市居住歴：約35年
○Hさん	地域：百草	多摩市居住歴：不明
○Iさん	地域：豊ヶ丘5丁目	多摩市居住歴：約10年
○Jさん	地域：関戸6丁目	多摩市居住歴：約17年

市長

最初に自己紹介をしていただきたいと思います。順番にお名前、お住まいの地域、居住年数とたま広報を読んでいるかなどお話いただければと思います。

Aさん

住まいは一ノ宮4丁目です。多摩市には約20年住んでいます。たま広報は毎回読んでいます。

Cさん

現在の住まいは豊ヶ丘です。結婚する前は百草団地に住んでいました。多摩市には、かれこれ50年近く住んでいます。たま広報は新聞を取っていたときは読んでいたのですが、今は読んでいません。

Hさん

多摩市出身です。途中多摩市を出しましたが、子育てで戻ってきました。百草に住んでいます。たま広報は熟読しています。

Eさん

世田谷区に住んでいて、中学二年のときに多摩市に引っ越してきたので、5、6年になるかと思います。たま広報は、新聞を取っていないので読んでいません。

Jさん

関戸に住んでいて、16、7年目になります。たま広報は大変見やすく、バランスや内容、構成もいいです。大変読みやすく、熟読しています。

Dさん

豊ヶ丘3丁目に15、6年住んでいます。たま広報は目を通したことはありますが、いつもは読んでいません。

Gさん

聖ヶ丘から参りました。豊ヶ丘に10年、聖ヶ丘に25年住んでいます。多摩市の市民委員などいろいろやっています。たま広報はよく読んでいます。

Iさん

豊ヶ丘に10年住んでいます。以前八王子市に30年住んでいました。多摩市は環境がとてもいいです。たま広報は見やすく、よく読んでいます。

Fさん

住所は中沢です。生まれてからずっと20年多摩市に住んでいます。たま広報は目に入れば必ず読んでいますが、SNSで見ていることが多いかもしれません。

Bさん

連光寺1丁目に住んでいます。10年になります。たま広報は読んでいます。

市長

ありがとうございました。

今年の4月からたま広報は、新聞購読者が減っている現状を考慮して新聞折り込みを止めて、全戸に配布することにしました。マンションによっては、拒否されたこともありましたが、丁寧な対応を行い、市からの情報は他のものとは違うことをご理解いただき、たま広報を配布しています。若い人は、紙のメディアそのものが見慣れない、また新聞を読む習慣がない、ホームページも見ない。こういう方もいらっしゃるので、子育てやごみなどのアプリといった違う手段でお知らせする方法をご案内しています。

本日は、多摩市の好きなどころ、こんなことが知りたい、あるいは、こういうふうにして欲しいなど要望やご意見がありましたら皆さんと一緒に話ししていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

Eさん

私は、世田谷から引っ越してきたので、向こうと比べて公園が多く、犬の散歩ができていいですね。道が広いことと、大きなホームセンターがあります。多摩市は、近場にこういう場所がたくさんあっていいです。ただ、妹が中学生の時に不審者に絡まれたことがあったので、防犯対策をきちんとして欲しいです。

市長

Eさんは落合6丁目にお住まいなので、犬の散歩は、多摩中央公園や一本杉公園に行っているのですか。

Eさん

一本杉公園に行っています。犬の散歩コースになっていて、池まで行き家に戻ってきます。自分自身も良い運動になっています。

市長

もう一つの不審者のことですが、多摩市では通学路に防犯カメラを設置しています。抑止力という面では、地域の自主防災組織や防犯パトロールの皆さんにもご協力いただいています。何かいいアイデアはありませんか。

Eさん

そうですね、夜は暗くて危ないので、街路灯を増やして欲しいと思います。

市長

ありがとうございました。それでは、坂本さんはいかがですか。

Dさん

多摩市は緑が多くて、自分の住んでいるところはマンションの4階ですが、見渡す限り緑で素晴らしい景色だと思っています。自宅の前も広い公園があり、遊歩道があって、安全に楽しく過ごしているので感謝しています。住環境については、街路灯が暗くて危ない場所があったのですが、最近、電球をLEDに交換していただき、明るくなり安全になりました。ただ、多摩センターのレンガ坂のところは、雨や雪の時に滑って自転車やお年寄りには危険だと思います。多摩市に若者を呼び込むことについては、多摩市が元気になって欲しいです。多摩センター自体は活気があると思っています。サンリオピューロランドのアピールが充実してきていますし、京王線の駅の装飾がサンリオ仕様になっているのはうれしいです。ラッピングバスなどいいですね。多摩センター駅からサンリオピューロランドまでの通路を盛り上げるような演出できるといいですね。多摩市にサンリオがあると

いうことをポスターなどで強くアピールして欲しいです。

市長

よく見ていただいているので、うれしく思います。京王線の各駅に多摩ニュータウンの魅力を伝えるポスターを首都大学東京の学生に手伝ってもらい、スマホで撮影し、デザインして全駅に張り出しました。小田急線・京王線のダイヤ改正に伴い、時間短縮を全車両につり広告を出しました。ここが危ないと言われていた、滑りやすい場所は具体的にどこでしょうか。

Dさん

豊ヶ丘3丁目にレンガ造りの広場があり、そのあたりと多摩センター駅のココリアと車道のスロープの所は滑りやすいですね。できればコンクリートにして欲しいです。

企画政策部長

多摩センター駅前のペDESTリアンデッキやクロスガーデンのレンガ坂と言われている所はレンガ造りになっていて、市でも滑りやすい場所であると認識しています。今、直ちに何かできるということは申し上げられませんが、今後ペデを改修していく上では考慮していかなければならないと思っています。

市長

それでは、Fさん、いかがでしょうか。

Fさん

多摩地域は、近隣の市でも緑が多いと挙げられると思うのですが、その中でも、多摩市独自という多摩ニュータウンは計画された町並みになっていて、いろいろな方にとって歩いたり、車を走らせたりしやすい町並みになっていると思います。加えて、多摩センターには小田急線、京王線が通っていて都心へのアクセスがよく、便利です。私は、自動車での移動が多いのですが、幹線道路から脇に入ると道が狭いので、もう少し道幅が広いと安全だと思います。

市長

はい。わかりました。ありがとうございました。

それではここからは、若者をどう多摩市に呼び込むか。というテーマで皆さんとお話したいと思います。

多摩市は、元気で活発なお年寄りがとても多いです。そして、現在、市内外を問わず39歳以下の方を対象に参加していただき、多摩市のアイデアをいろいろ出してもらおう若者

会議というものをやっています。「未知カフェ」という拠点スペース作りにも動き出しています。公園も多く、パルテノン多摩があり、企業も進出してきています。アニメのちびまる子ちゃんは多摩市で制作されており、また、ラスカルのマンホールカードも取り組んでいます。いろいろもっと活用できないか、サンリオも活用できないか、との意見をいただいています。今日は、皆さんから若者をどう多摩市に呼び込んだらいいのかをご意見いただければと思います。

Aさん

私は、先ほど発言された方の親世代にあたると思います。ちょうど息子が0歳のときに多摩市に引っ越してきたので20年、ずっと多摩市で育っています。私が市民活動をしているのを見ているせいか、息子は地元が大好きで、「親元を離れたくない。住み心地がいいし、楽し、家を出ることが分からない。」と言うのです。ただ、就職となった時に、家から通勤苦を味あわずに好きな仕事ができる機会があるのか、というのが最近の我が家のホットな話題です。若い人が住みやすくなるためには、家賃が減額される、地元に住むならお祝い金が出るなど、住環境の具体的な施策があれば若い人を呼び込むにはいいのではと思います。親元から離れてはじめての一步で住む場合は、古い団地が借りられるなどの社会人をバックアップできる住環境があればいいなと思います。

市長

ありがとうございました。若い人が引っ越すときに、何らかの支援、お試してみたいなことができないかというご提案がありました。他の皆さんはいかがでしょう。

Hさん

若者を多摩市に呼び込むためには、2つの視点があると思います。住むということと、先ほどもお話に出たサンリオピューロランドなどを広報して一時的に呼び込むもの、この2点だと思います。子育て世代が若者の仲間になるのか分かりませんが、次のテーマにかぶってしまうと思うのですがよろしいですか。

市長

この段階ではいろいろなアイデアが欲しいので、何かあればぜひおっしゃってください。

Aさん

若者会議で39歳までと定義しているということは、子育て世代も若者と理解していいのではないですか。

市長

子どもの定義は難しいですね。昔は18歳以下を指していましたが、今は選挙権が18歳になってきています。タバコやお酒は20歳からと民法上では決められていますが、一方で学校の不登校やひきこもりについては、多摩市では義務教育課程の中学生までが対象で、高校生や大学生は管轄が違うのです。

また、仕事をしていてパワハラや心の病で会社に行けなくなったりといろいろあります。市の問い合わせも20代・30代が増えています。昨年から定期的にひきこもりの相談会を始めましたが、予約がいっぱいになるほど来られる方が多いです。若者会議で39歳までと定義した中、それを越えた40代のひきこもりをどうしたらいいのかという相談があるくらいです。一方で、親の介護や親と同居したことなどで仕事や結婚のチャンスを失って今に至ったという方もいます。子ども・若者を応援していこうと市も動いていますが、若者会議で39歳とする中、非常にそういう問題が広がっています。保育園とか、親御さんと違った課題になると思いますが、国からの大学卒業奨学金を返すだけの仕事、3年以内に転職、終身雇用がなくなってきています。行政だけでは抱えきれない問題ですが、きちんと受け止めようということで子ども・若者を応援できないかということで動いています。

Jさん

若者・子育て世代、働き世代、高齢世代に向けて、それぞれどうやったら魅力を感じられるかなと考えてきました。子育て世代は、保育園や幼稚園、託児所に入りやすいこと。市立の施設があつたらいいなと思いました。赤ちゃん、子連れで行けるカフェみたいな所があつたら、若い世代のママたち、パパたちが気軽に行けるかと考えました。また、目線を変えて、市の制度で2、3人目にはお祝い金を支給するとか、サンリオやジブリの耳をすませば、ラスカルなどのキャラクターをまちに溶け込ませたり、母子手帳にデザインしたり、婚姻届の用紙に刷り込むなどしたらどうでしょうか。また、せっかく良い公園があるのでそういうキャラクターの銅像・オブジェなどを配置して、あそこはラスカルの公園、ここはキティちゃんの公園というようにすると面白いかなと思います。働き世代は、通勤関係、家賃・賃貸料の負担、教育・住宅ローン、車の購入・維持費などいろいろ抱えてしまう世代だと思うので、その時に行政が背負うのは難しいと思います。では、若者働き世代が喜んでがんばれるような、何かできないかなと考えたとき、多摩市は土地や自然が豊富にあり、廃校などスペースがあるのでそういう場所を活用して市営のボルダリング施設、家庭菜園、ファミリーで過ごせるようなアスレチックを跡地利用してつくるのはどうでしょうか。また、多摩市は閑散化している地区があるので、その坂道を利用してみんなにいやな顔をされずに公にスケートボードができる場所、オリンピック種目にも選ばれた自転車競技もあることからサイクリングができる場所をつくるなど健幸都市らしいスポーツ面でも何かつくってあげられたらいいのではないかと考えてきました。

市長

ありがとうございました。みなさんいろいろ考えてきてくださってうれしく思います。若者を多摩市に呼び込むことは、仕事、遊び、スポーツ等いろいろ可能にできるまちが若者を呼び込むことにつながり、また、先ほどご意見があったような家賃補助を政策的に導入するとか、もっと住みやすいまちにしていくためには、職住近接で働く場所が近くになったほうがいいよねとか、いろいろな話になってくると思います。着地点はたくさんあると思いますが、ここで別の視点からお話いただきたいと思います。

Hさん

若者を多摩市に呼ぶということに関連しては、目先のことではなく、次世代につなぐ、目線が必要です。多摩市の魅力は健幸都市であったり、教育上ではE S D (持続発展教育)を推進していたり、健康寿命が長かったり、いろいろな良い部分があるけど、今後次世代まで続くのかなと思うと、多摩市はインフラ重視のところがあると思います。食だとか農だとか、もともと生物として人間が最初に欲求するところが押えられていないと繋いでいくものも繋がらないと思います。今ある公園、里山、緑は残して、インフラは今あるものだけで十分だと思います。食と農の問題は最優先に考えて欲しいです。

市長

道路や下水道・公園といったインフラについては多摩市は充実していて、それらをメンテナンスしていくことが問題となっています。

Hさん

大手建設会社が入って新しい住宅や企業などが増え、そのために農地がなくなっていく、随分緑が減っていったなと思っています。それでも公園占有面積は都内で一位と言われてはいますが、企業や農地法などの問題もあるかと思いますが、もっと守れるものは守って欲しいなという意見です。あと、保育園に関しては、保育ステーションみたいな所を増やして欲しいです。友人の話ですが、保育園の数を増やして欲しい、それが無理ならステーションという形の一時的な預かり場所を増やして欲しいということでした。待機児童が100人を切ったという情報ですが、いろいろな定期利用保育とか認可ではない認証保育、幼稚園を利用するだとか細かい入園を含めてやっと半分以下の83人になった状況です。実際には200人位いる状況なのでそこを充実して欲しいです。そうすれば、子育て世代も多摩市に来やすいのではないかなと思います。また、電磁波過敏症について、どこへ行ってもWi-Fiの電波が飛んでいます。便利ではあるのだけれど、子どもの健康状態はどうなのでしょう。それと受動喫煙について、駅前や保育園近くの喫煙はやめて欲しいです。多摩市から先駆的な取り組みをして、日本のモデル地区になるようなことをして欲しいです。

市長

受動喫煙については、現在受動喫煙防止条例を市民のみなさんと一緒に作っているところです。専門的立場の人を含めて審議会を立ち上げ、ワークショップを行い、議論を重ねています。吸う人・吸わない人、どうしたらいいのか。このことは、昔より厳しく考える人が増えています。一方でたばこ税は重要な税財源であります。多摩市内のコンビニや販売店で購入すると、使える税金が入ってきます。

企画政策部長

たばこ税は、年間約8億円の財源です。一般財源であるので、いろいろなことに使えます。たばこは、売れた場所ではなく、卸した場所の市町村に税金が入りますので重要な財源であります。

市長

健康の問題と受動喫煙の問題とがあり、喫煙されている皆さんから税金として年間約8億円もいただいています。データ的に見ると長く吸っているとがん罹患率が高くなり、肺などの気管支に関して慢性的な病になる。医療費負担が増える。

約8億の税金よりも医療費がかかるというほうがどうかと思いますが、いずれにしてもこの問題は大変なことなのです。東京都も東京オリンピック・パラリンピックを契機に、全面禁煙がナショナルスタンダードだと言っていますので、広めていかなければと思っています。

電磁波については、永山公民館ではご意見があったのでWi-Fiの設置位置をずらしました。やれることはやっていきますが、Wi-Fiを希望される市民の方もいらっしゃいます。観光地、サンリオピューロランド、下水道マンホールカードなどを求めて全国から来られる方も多くいますので、Wi-Fiは必須になっています。公共施設では、市民の皆さんにそのようなことが及ばないようにやっていきたいと思っています。ただ、難しいのが、電磁波については、まだ理解している人、理解できない人がいるようですので、もう少し時間をかけて話し合っていきたいと思っています。また、地震・災害時の避難場所で求められることは、携帯・スマホの充電場所とWi-Fiなんです。そうすると、そういうところに避難できなくなってしまう。正直難しい問題で、今正解はない状態ですが、何とかして欲しいという声は受け止めています。

企画政策部長

Wi-Fiについて、そういう声が上がっていることは承知しています。今できることは、設置している場所を配慮し、機器がここにあると明示することで、離れる、よけていただくなどお願いしています。国の基準がありますので大丈夫であるという認識ですが、過敏な方がいること、心配な声があがっていることは承知しています。

Iさん

人口を増やすことについて一言いいですか。エレベーターのない団地、4階・5階の空き室が増えていること。特に若い人の人口が相当減ってきている中で、空き室が増えている現状を見て、いかに有効に活用していくのが問題だと思います。大学に通っている学生の仕送りが減って8万、9万円アルバイトしないと生活できない。学生向けに何かできないか。UR都市機構と市の関係もあるから一概には言えませんが、団地は高齢化しているので災害においても学生の力が大きいし、いろいろなイベントにも活躍してくれます。いっただけで活気が出て、団地の活性化が人口増につながると思います。

Gさん

今、多摩大学が空き室を利用して学生を入居させています。4階・5階にお年寄りが住むのは大変だから学生に住まわせています。

市長

多摩市も先駆けてやっているんです。UR都市機構と市が交渉して、他大学もやろうとしたが断られました。4階とかだけではなく、1棟全部なら可能だ、学生だけではなく、教員も住んで欲しいと。その大学の学生さんに聞いた話ですが、仕送りのこともあり、多摩市に地方の人が住むということはあまりなく、2、3時間かけて通学しているそうです。千葉県の木更津市から通学しているんですよ。普通なら下宿するところですがそういう時代になっているのですね。URもやっているところはありますが、大学と協定を交わしてやろうとするとハードルが高く、夜遅くまで騒ぐ、ごみの出し方など、お住まいになっている皆さんもルールを守り、気になるところがあっても共生・共存していくことが難しいのです。特に海外からの学生が多く、高島平は海外からの留学生が多いです。中国、タイ、ミャンマー、ベトナムからニーズがあります。首都大学東京でも、聖蹟桜ヶ丘に学生寮を建設し、留学生が100人以上住んでいます。団地と違って、自己完結型になっています。時間をかけて共生していくことにしないと難しいです。

Fさん

大学がすごくあるので学生に住んでもらうということは有効だと思います。ただ、大学は4年で終わるのでその後に住んでもらうのは別問題かなと思います。

Eさん

「多摩市」って言われても、都心に住んでいる人は、どういうところか分かっていないです。サンリオピューロランドが多摩市にあることも知らない。多摩市に住んでみてはいかがですかと広告したり、家賃を下げた実際に住んでもらうことなど住みやすさを体験してもらおうのいいのかなと思います。

Dさん

若い方々に住んでもらうためには、ガーデンカフェやキッズカフェとかあるといいです。また、多摩市にはバーベキューができる所が大谷戸公園と鶴牧西公園の二つしかないのですよね。若葉台あたりにはマンションの前に公園があって若者や子育て世代の方がバーベキューをしているのを見かけます。多摩市にも今大型のマンションを建設しているのでそういうマンションの前にバーベキューができる公園やカフェがあって、住んでみて楽しめるような設備があるといいですね。もうひとつ、飲食店がチェーン店しかないので、地域にこだわりを持った飲食店が増えるといいなと思っています。

Iさん

昭和記念公園には、バーベキュー施設があります。有料ですが全部セットで借りられ、手ぶらでバーベキューができるので、多摩中央公園にそういうのができると若者を呼び込めるのではないかと思います。

Hさん

私は、多摩中央公園でバーベキューは反対です。場所は選んでいただきたいです。ただ、ママたちの中でもバーベキューのリクエストは多くて、マナーを守って、しっかり駐車場の整備ができていればいいなと思います。ガーデンカフェについては、多摩の農産物を使った飲食店、コミュニティカフェみたいな所があるので、NPOなどの市民活動団体ともしっかり連携がとれればよいと思います。盛り上げていくためには、市からの広報なども必要なのではないのでしょうか。

Aさん

NPO活動をやってきた者として言うと、横につなげばいいというものではないと非常に感じています。市民活動は面白い、ステキって、それぞれ個性があって、自分のやりたいことをやっているのがステキなわけで、つないでルールを作ってしまうと、みんな居心地が悪くなって中途半端になってしまうところが注意すべき点だと思います。つなぎ方をどうすればいいのか考える必要があります。NPOセンターや市民活動センターとかつくってルールを作って、その中でいきいき活動ができるっていうのは少ないと思います。

市長

多摩市でも、NPOセンターをつくってみんなで広報紙を作って、学校跡地でやり始めましたが、そのときは盛り上がりました。だけど、皆さん、一国一城の主として、そのことが楽しいから取り組んでいるのであって、お互いの立場を理解し合いながらやっていくというのは・・・そうですね。だからといって難しいということではないのですが。

Hさん

先ほど若者会議で70名の方が集まってコミュニティカフェを造るというお話はすごく展望があることだと思いました。親子カフェ、キッズカフェもちらほらあるんです。皆さん独自にがんばっていますよね。ヴィータみたいな駅前の公共施設を利用して、コミュニティカフェでいろいろな人が集まれるような環境をつくっていったら面白いですね。

市長

ありがとうございました。若者を多摩市に呼び込む話で盛り上がっているところですが、次に犬の飼い方についてはいかがでしょうか。

Bさん

隣の家が犬を飼っていてすごくうるさく、7、8年越し関わってきて最後は民事調停までしました。他の近所の方も注意をしてくれて今は落ち着いています。これはすごくレアなケースではないと思うのです。よくあることだと思います。そのお宅は、ずっと前からそこに住んでいて我慢していました。

(犬の鳴き声を録音したものを流して) これは、私の家の寝室から録音したものです。朝7時に鳴いていたものです。これが、一日中なんです。

多摩市では、飼い主が犬を登録する際、トイレのことやリードをつけること、最後まで責任を持って飼うなど書いてあるリーフレットを渡して説明をしています。そして、年1回飼い方講習会を開催し、何か相談事があったら東京都動物愛護相談センターを紹介しています。近隣市を調べましたが、どこも同じようなものでした。自分は多摩市の前に文京区に住んでいましたので、そこと比べると文京区は良かったです。飼い始め、登録、マナーについて、また、寄生虫に対してとか、大規模災害時どうするとか、生まれてからの検診の結果が書けるような母子手帳みたいなものがあるので、無責任に犬を飼うということができなくなります。犬が高齢になったときに特に気をつけることを別の冊子であります。文京区は非常に充実しています。

また、動物を扱うテレビ番組が数え切れないほどたくさんあります。かわいい、かわいいで飼いたくなる。飼うのはかまいませんが、安易な気持ちで飼っている人が多いと思うので、多摩市ではしつけの部分をしっかり啓蒙して欲しいと思います。

Hさん

お話を聞いていて思ったのですが、子どもと散歩していると犬のフンがそこらじゅうにあります。飼い主はどういう気持ちでいるのでしょうか。

Jさん

犬を飼っている人に対してはフンを放置したら条例で決めて罰金をとる。猫は安易に捨

ててしまうので、そういう人にも罰金を科する。犬も猫も平等に市が条例で決めて、プレートを設置して知らしめてはどうでしょうか。

市長

いろいろなご意見ありがとうございます。文京区の例は、くらしと文化部の担当部署に伝えたいと思います。それでは、時間も押し迫ってきましたが最後に江口さん、お願いします。

Gさん

より魅力的なまちにするための意見、提案を考えてきました。まず、高齢化については、1989年(平成元年)から高齢化になるだろうと言われていました。四半世紀後にはお年寄りばかりが目立つ町に変わってしまうと当時の新聞にも書かれていました。空き家も増加していくでしょう。商店街の閉店も問題です。1999年に小淵首相が多摩ニュータウンを視察され、その中で永山商店街を視察し、商店街の人たちは家賃が高いと訴えていました。電気代などを含めると月に30万円にもなると。そして、当時の建設省が多摩ニュータウンの活性化調査を3年かけて調査するという記事がありましたが、これは何かやったのでしょうか。

市長

私が市長になってからは、東京都にお願いして多摩ニュータウン全体を調査していただいています。今、多摩市でもニュータウン再生推進会議で都営住宅の建て替えや尾根幹線道路の整備を審議しています。国が法律を変えないとどうにもなりません、UR都市機構がきちんと賃貸住宅の建て替えができるしくみをつくっていただけるようお願いしています。

Gさん

ごみ屋敷も増える、空き地の対策も必要などあります。そして、公共施設の建築物の老朽化による改修・補修、建て替えが増加すると思いますので、早めに調査して取り掛かって欲しいです。あと、多摩市の活性化については、観光に力を入れたらいいと思います。日野市は外国人を採用して国際交流や観光客誘致を推進していますので、多摩市でも何かできないものかと考えました。多摩市はキティーちゃんがいるサンリオピューロランドがあるのでそこに寄ってもらえるような、多摩市に寄り道してもらえるような何かができないかと思いました。また、府中市では、ラグビーのパンフレットを制作しています。来年ワールドカップもあるので気運を盛り上げています。多摩市も東京オリンピック・パラリンピックの自転車ロードレースが多摩市の尾根幹線道路やまち中を通るので、そういうパンフレットを作ったほうがいいです。西東京市では4カ国語のパンフを制作していますし、

これからは、外国人旅行客に対して力を入れたほうがいいです。東京都は、オリンピック・パラリンピックのボランティアを募集しています。それを多摩市はうまく利用したらどうでしょうか。多摩市にも相当ボランティア教育の指導を受けた者がいるんじゃないかと思います。多摩センターの企業誘致については、地価が高く容易ではないのではないかと。大学の誘致は、駅から遠い大学は衰退しているので駅から近い場所に進めたほうがいいかなと考えます。それと、今年は大きな土砂災害がありました。これは、お願いなんです、東京都建設局が調査している急傾斜地崩壊危険区域の調査を問い合わせた多摩市内の結果を公表して欲しいと思います。

市長

Gさん、いろいろありがとうございました。

土砂災害の調査の結果はまだ、正式に発表されていませんが、多摩市はハザードマップを作っていて、多摩川、大栗川、乞田川の浸水深をお知らせしています。土砂災害などの土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域については、今度作成するハザードマップに掲載する予定です。多摩センターの企業誘致については、誘致が進み昼間の人口は増えています。今秋にも新しい企業がオープンします。これからも大きな会社が続々と来る予定です。多摩ニュータウンはインフラがしっかりしているので、企業にとっても重要な場所と捉えています。ただ、グローバル化と流通のあり方、しくみが大きく変わってきているので、10年、20年後、どういう企業が生き残っているのかは分かりません。それくらい厳しい時代に入ってきていると思います。

さて、時間がなくなってきました。「ことりっふ 多摩市」の宣伝をさせてください。これは、働く女性が週末に行く小さな旅を提案したガイドブックです。新宿、渋谷、吉祥寺の各駅にある指定の本屋さんにおいてあります。多摩市の魅力が詰まったオリジナル冊子を無料で配布しています。これからも、市民の皆さんと一緒に税金をあまりかけず、多摩市をPRする取り組みをしてまいります。あと、皆さんのお手元に「多摩センタータウンガイド」があります。これは4カ国語で制作したもので、先ほど江口さんがおっしゃっていた外国語のパンフレットになります。ご覧ください。

Cさん

皆さんよく考えていらっしゃるなと感心しました。自分も50年多摩市に住んでいて、魅力があると何も考えていなかったなと反省しました。とても参考になりました。ありがとうございました。

Iさん

聖蹟桜ヶ丘駅と多摩センター駅にある観光の看板が小さいので大きくして欲しいです。また、劣化もしているので新しくしてください。

Hさん

外国人は体験型の場所があるといいのではないのでしょうか。

市長

長い時間になってしまいましたが、皆さんからいろいろなご意見、ご提案をいただくことができました。できることはきちんと受け止めて実現できるよう、そして、若い人たちを含めて、これからも住み続ける多摩のまちにしていきたいと思っていますので、みなさんよろしく願いいたします。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。